

広島県三次市におけるオオタカによるブッポウソウ巣内ヒナの捕食

上野 吉雄^{1*}・福田 哲彦²

¹ 認定 NPO 法人西中国山地自然史研究会・² 三次市十日市東

Predation by Northern Goshawk *Accipiter gentilis fujiyamae* on Oriental Dollarbird *Eurystomus orientalis* Nestlings in Miyoshi, Hiroshima Prefecture

Yoshio UENO* and Tetsuhiko FUKUDA

報告

オオタカ *Accipiter gentilis* は、スカンジナビア、シベリアの森林限界近くから、アメリカ大陸では、アラスカ、カナダ、カリフォルニア、メキシコ北部、ペンシルバニアまで、旧大陸ではモロッコ、サウジアラビア、イラン、チベット、日本までの北半球の広い地域に分布している (Brown & Amadon 1968).

日本国内に分布するのは亜種オオタカ *A. gentilis fujiyamae* で、南西諸島を含む島嶼部を除き、全国的に繁殖が確認されているが、生息数も少ないので環境省により準絶滅危惧に選定されている (遠藤 2014).

広島県では全県的な分布調査は行われていないが、非公表ながら各地で繁殖情報がある。鳥類や小型哺乳類を捕食する生態系上位種であることから、準絶滅危惧に選定されている (井原 2012).

広島県三次市においてオオタカが巣箱内のブッポウソウ *Eurystomus orientalis* のヒナを捕食するのを確認したので報告する。確認したのは三次市吉舎町安田 (34°44'46"N, 133°1'35"E, 標高 251m) である (図版 1-A).

2022 年 6 月 24 日 7 時 16 分に巣箱に営巣したブッポウソウの撮影をしていると、ブッポウソウの親鳥の警戒鳴きが聞こえた。親鳥の警戒鳴きが止んだ時、巣箱に向ってオオタカが飛翔してきて、巣箱内に片足を突っ込んで (図版 1-B) ヒナ 1 羽を引っ張り出し (図版 1-C)、ヒナを掴んで飛び去った。その約 15 分後には親鳥が給餌を再開したので巣箱内には他のヒナが残されていたと考えられる。3 日後の 6 月 27 日に巣箱を観察した所、親鳥による給餌が見られなかった。ブッポウソウのヒナは一巣 3 羽から 4 羽が普通であり (上野ほか 2022)、残りのヒナもすべて捕食されたと考えられる。捕食されたブッポウソウのヒナはまだ羽毛が生えておらず、ふ化 10 日目くらいである (上野ほか 2022)。この成長段階のヒナはまだ巣箱内にうずくまっている。巣箱内は深さがあり (図版 1-D)、巣箱の外からはヒナは目視できない。したがって、オオタカは巣箱内のヒナの存在を親鳥の給餌行動を見ることにより察知し、巣箱内に足を差し入れて掴みだしたと考えられる。

一般にオオタカの採餌行動は止まり場所から獲物を見つけて襲う方法、飛翔しながら空中の獲物を追跡し襲う方法、地上にいる獲物を見つけ急降下して襲う方法など、獲物を目視して襲うとされている (内田 2013)。今回の観察でオオタカが親鳥の給餌行動を見て、巣箱内の見えていないヒナを捕獲することが明らかになった。このことはオオタカに洞察力がそなわっていることを示唆している。

引用文献

Brown & Amadon (1968) Eagle, Hawks and Falcons of the World. Country Life Books, Feltham

遠藤 孝一 (2014) オオタカ。レッドデータブック 2014 - 日本の絶滅のおそれのある野生生物 -, 226 環境省株式会社ぎょうせい

井原 庸(2022)オオタカ . 広島県の絶滅のおそれのある野生生物(第 4 版)ーレッドデータブックひろしま 2021 ー:
119. 広島県
内田 博(2013) オオタカの行動圏と採餌行動. 日本のタカ学, 346pp. 東京大学出版会 東京
上野 吉雄・保井 浩・斎 陽・河野 弥生・前田 芙沙・白川 勝信 (2022) 動画資料による巣内びなの観察法の開発ーブッ
ポウソウの初期成鳥についてー. 高原の自然史, 22 : 21-25

図版 1



A : ブッポウソウの営巣環境 2022 年 12 月 30 日
B : ブッポウソウの巣箱に取り付くオオタカ 2022 年 6 月 24 日
C : ブッポウソウのヒナを掴んだオオタカ 2022 年 6 月 24 日
D : 巣箱内の様子 2022 年 12 月 30 日